

令和 4 年度 継続中事業の進捗状況

年 度	再評価対象事業					再評価対象外事業				自己評価				
	再評価時点		A～Cの 現状			再評価 時点	現状			対象事業	結果 ※ 2			
			継続事業 自己評価 対象事業	完 了	計画変更 事業休止等		継続事業 自己評価 対象事業	完 了	計画変更 事業休止等		①(i)	①(ii)	②(i)	②(ii)
平成30年度	15事業	15事業	15事業	—	—	8事業	8事業	—	—	23事業	7事業	1事業	8事業	7事業
令和元年度	10事業	10事業	10事業	—	—	2事業	2事業	—	—	12事業	1事業	1事業	7事業	3事業
令和 2 年度	2事業	2事業	2事業	—	—	—	—	—	—	2事業	1事業	—	—	1事業
計	27事業	27事業	27事業	—	—	10事業	10事業	—	—	37事業	9事業	2事業	15事業	11事業

※ 1 【対応方針】

- 事業継続(A) : 完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
- 事業継続(B) : 予算の範囲内で着実に継続実施するもの
- 事業継続(C) : 限定的な実施にとどまるもの

※ 2 【自己評価結果】

- ①(i) : 計画どおりに進捗している（事業費進捗率・事業内容）
- ①(ii) : 計画どおりに進捗している（事業内容は計画どおりに進捗していない）
- ②(i) : 計画どおりに進捗していない（事業内容は計画どおりに進捗している）
- ②(ii) : 計画どおりに進捗していない（事業費進捗率・事業内容）

事業再評価後の取組状況 - 平成30年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
 事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
 事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】
 A:事業費進捗率について ①計画どおりに進捗している
 ②計画どおりに進捗していない
 B:事業内容について (i)計画どおりに進捗している
 (ii)計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点														
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況					3年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由								
					30年度 (事業再評価時)	元年度	2年度	3年度			4年度							
H30 -01	街路事業 [建設局] 歌島豊里線整備事業	事業継続 (A)	今後、平成36年に予定している阪急電鉄京都線・千里線連続立体交差事業による高架切り替え後の、速やかな交差部の整備へ向けて、重点的に事業を実施し、平成39年度の事業完了をめざす。	計画	事業費	全体	247	247	247	247	令和3年度は用地取得に向け、用地交渉を行い、事業進捗を図った。	[自己評価結果] ①(i) [理由]						
						累計	241	242	242	242			242					
						進捗率	98%	98%	98%	98%			98%					
					完了年度		R9	R9	R9	R9			R9					
					実績	事業費	全体	247	247	247			247					
							累計	241	241	241			241					
				進捗率			98%	98%	98%	98%								
				完了年度		R9	R9	R9	R9									
				H30 -02	街路事業 [建設局] 本庄西天満線（神山） 整備事業	事業継続 (B)	今後、当面は予算の範囲内で進捗をはかり、優先的に進める他の路線の収束に伴い予算が確保でき次第、本格的に残る用地取得と道路整備を進め、平成39年度での事業完了をめざす。	計画	事業費	全体			191	191	191	191	令和3年度は用地取得に向け、用地交渉を行い、事業進捗を図った。	[自己評価結果] ①(i) [理由]
										累計			165	165	166	167		
進捗率	86%	87%	87%							87%	90%							
完了年度		R9	R9						R9	R9	R9							
実績	事業費	全体	191						191	191	191							
		累計	165						165	165	166							
		進捗率	86%					86%	87%	87%								
完了年度		R9	R9					R9	R9									
H30 -03	街路事業 [建設局] 東野田河堀口線（大手前） 整備事業	事業継続 (B)	今後、当面は予算の範囲内で進捗をはかり、優先的に進める他の路線の収束に伴い予算が確保でき次第、本格的に残る用地取得と道路整備を進め、平成36年度での事業完了をめざす。					計画	事業費	全体	22	22	22	22	令和3年度は用地交渉を行うとともに、道路整備に向けた、測量業務を実施し事業進捗を図った。	[自己評価結果] ②(ii) [理由] 権利者との用地交渉に時間を要し、計画どおりに進捗することができていない。 [事業期間の変更をした理由] 権利者との用地交渉に時間を要しているが、引き続き用地交渉を行っていき、事業完了の見込める令和7年度まで延伸を予定している。		
										累計	14	14	14	19				
				進捗率	64%	64%	64%			83%	87%							
				完了年度		R6	R6		R6	R6	R6							
				実績	事業費	全体	22		22	22	22							
						累計	14		16	16	16							
						進捗率	64%	72%	72%	73%								
				完了年度		R6	R6	R6	R7									
				H30 -04	街路事業 [建設局] 尼崎平野線（山王） 整備事業	事業継続 (A)	平成32年度までの防災骨格形成へむけ重点的に事業を実施し、その後も引き続き、用地確保できた区間から段階的に道路整備を進め、平成37年度での事業完了をめざす。	計画	事業費	全体	47	47	47	47			令和3年度は、道路設計及び用地取得に向けた、土質・建物調査を実施し事業進捗を図った。	[自己評価結果] ②(i) [理由] 権利者との用地交渉に時間を要し、計画どおりの予算執行は行えなかったが、重点的な予算確保に取り組み、予算の範囲内で道路設計及び用地取得に向けた調査を行い、着実に事業進捗を図っている。
										累計	23	28	35	41				
進捗率	48%	61%	76%							88%	92%							
完了年度		R7	R7						R7	R7	R7							
実績	事業費	全体	47						47	47	47							
		累計	23						23	23	23							
		進捗率	48%					49%	49%	50%								
完了年度		R7	R7					R7	R7									

事業再評価後の取組状況 - 平成30年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
 事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
 事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】
 A:事業費進捗率について ①計画どおりに進捗している
 ②計画どおりに進捗していない
 B:事業内容について (i)計画どおりに進捗している
 (ii)計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況					3年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由			
				30年度 (事業再評価時)	元年度	2年度	3年度	4年度					
H30 -05	街路事業 [建設局] 豊里矢田線（鳴野・蒲生）整備事業	事業継続 (B)	今後、当面は予算の範囲内で進捗をはかり、優先的に進める他の路線の収束に伴い予算が確保でき次第、本格的に残る用地取得と橋梁架け替えを含む残区間の道路整備を進め、平成39年度での事業完了をめざす。	計画	事業費	全体	150	150	150	150	令和3年度は、用地取得に向けた、土地調査を実施し事業進捗を図った。	[自己評価結果] ②(i) [理由] 権利者との用地交渉に時間を要し、計画どおりの予算執行は行えなかったが、予算の範囲内で用地取得に向けた調査を行い、着実に事業進捗を図っている。	
						累計	100	102	105	110			116
						進捗率	67%	68%	70%	73%			78%
					完了年度	R9	R9	R9	R9	R9			
				実績	事業費	全体	150	150	150	150			
						累計	100	101	102	102			
						進捗率	67%	67%	68%	68%			
					完了年度	R9	R9	R9	R9				
				H30 -06	街路事業 [建設局] 正連寺川北岸線（伝法）整備事業	事業継続 (C)	限られた予算の範囲では本路線への重点的な予算配分は難しく、当面の間は、買収の要望に対応するなど限定的な事業実施となるが、今後、優先的に進める他の路線の収束に伴い、予算が確保でき次第、また、阪神なんば線との交差部においては淀川橋梁架替事業の進捗とあわせて事業を実施し、平成43年度での事業完了をめざす。	計画	事業費	全体			68
累計	28	29	29							29	29		
進捗率	41%	42%	42%							42%	42%		
完了年度	R13	R13	R13						R13	R13			
実績	事業費	全体	68					68	68	68			
		累計	28					28	29	29			
		進捗率	41%					42%	43%	43%			
	完了年度	R13	R13					R13	R13				
H30 -07	街路事業 [建設局] 尼崎堺線（住之江）整備事業	事業継続 (B)	今後、当面は予算の範囲内で進捗をはかり、優先的に進める他の路線の収束に伴い予算が確保でき次第、本格的に残る用地取得と道路整備を進め、平成36年度での事業完了をめざす。					計画	事業費	全体	12	12	12
				累計	8	8	8			8	11		
				進捗率	64%	67%	67%			68%	89%		
				完了年度	R6	R6	R6		R6	R6			
				実績	事業費	全体	12	12	12	12			
						累計	8	8	8	8			
						進捗率	67%	67%	67%	67%			
					完了年度	R6	R6	R6	R7				
				H30 -08	道路事業 [建設局] 国道479号清水共同溝整備事業	事業継続 (A)	本事業については、共同溝を整備することにより道路の掘り返し防止による都市交通の円滑化、地震災害時のライフラインの安全性向上による都市防災性の向上が図れることから、事業を継続することとし、今後の工事における工事工程管理、工事発注計画について調整し、平成32年度までの完了に向け重点的に実施する。	計画	事業費	全体	110	110	110
累計	96	100	101							102	103		
進捗率	87%	91%	92%							93%	94%		
完了年度	R2	R2	R6						R6	R6			
実績	事業費	全体	110					110	110	110			
		累計	98					100	101	102			
		進捗率	89%					91%	92%	93%			
	完了年度	R2	R2					R6	R6				

事業再評価後の取組状況 - 平成30年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】
A:事業費進捗率について ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
B:事業内容について (i)計画どおりに進捗している
(ii)計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 〔事業所管局〕 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点										
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況						3年度 の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更を した場合の理由			
					30年度 (事業再評価時)	元年度	2年度	3年度	4年度					
H30 -09	住区基幹公園整備事業 〔建設局〕 巽公園整備事業	事業継続 (C)	残りの用地買収や施設整備を行い、コスト削減を図りながら、着実に事業実施を進める。	計画	事業費	全体	162	162	162	162	用地取得済の区域について、R2年度（R3繰越）から整備工事を行った。	〔自己評価結果〕 ②（ii） 〔理由〕 用地未取得の区域において、現在も事業を運営中の借地人と地権者との間で、売却に向けた意思統一がなされておらず、権原取得に向けた調整が難航しているため。令和5年度の完成を目指し、両者に用地交渉を実施していく。		
						累計	158	159	159	162				
						進捗率	98%	98%	98%	98%			100%	
					完了年度		R5	R5	R5	R5			R5	
				実績	事業費	全体	162	162	162	162				
						累計	158	158	158	159				
						進捗率	98%	98%	98%	98%				
					完了年度		R5	R5	R5	R5				R5
				H30 -10	下水道事業 〔建設局〕 大阪市公共下水道事業 (抜本的浸水対策事業)	事業継続 (B)	浸水対策事業については、市民の安心安全の確保の観点から極めて緊急性の高い事業であり、局運営方針に基づき、既存施設の有効活用、新技術等の導入や他事業連携も検討し、予算の範囲内で大隅～十八条幹線や此花ポンプ場等の実施により、平成35年度での雨水対策整備率81.3%に向けて重点的に事業を実施する。	計画	事業費	全体				9,600
累計	6,865	6,951	6,989							7,048	7,096			
進捗率	72%	72%	73%							73%	74%			
完了年度		R20	R20						R20	R20	R20			
実績	事業費	全体	9,600					9,600	9,600	9,600				
		累計	6,865					6,943	6,974	7,032				
		進捗率	72%					72%	73%	73%				
	完了年度		R20					R20	R20	R20		R20		
H30 -11	下水道事業 〔建設局〕 大阪市公共下水道事業 (合流式下水道改善事業)	事業継続 (A)	合流改善事業については、下水道法施行令により達成年限が規定されていることから、局運営方針に基づき、既存施設の有効活用、新技術等の導入や他事業連携も検討し、長堀滞水池や住之江滞水池等の実施により、令和5年度末での事業完了に向けて重点的に事業を実施する。					計画	事業費	全体		2,000	1,500	1,500
				累計	1,053	1,143	1,174			1,191		1,237		
				進捗率	53%	76%	78%			79%		82%		
				完了年度		R5	R5		R5	R5		R5		
				実績	事業費	全体	2,000	1,500	1,500	1,500				
						累計	1,053	1,128	1,166	1,191				
						進捗率	53%	75%	78%	79%				
					完了年度		R5	R5	R5	R7	R7			
				H30 -12	下水道事業 〔建設局〕 大阪市公共下水道事業 (高度処理事業)	事業継続 (B)	高度処理事業については、法令に基づき下水道事業者がその責務を果たす必要があり、局運営方針に基づき、既存施設の効果的な有効活用や新技術等の導入も検討し、予算の範囲内で水処理施設の更新に合わせた実施により、平成37年度での水質環境基準の達成に向けて重点的・継続的に事業を実施する。	計画	事業費	全体	350		350	350
累計	37	137	217							264	268			
進捗率	11%	39%	62%							75%	77%			
完了年度		R7	R7						R7	R7	R7			
実績	事業費	全体	350					350	350	350				
		累計	37					94	178	213				
		進捗率	11%					27%	51%	61%				
	完了年度		R7					R7	R7	R7		R7		

事業再評価後の取組状況 - 平成30年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
 事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
 事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】
 A:事業費進捗率について ①計画どおりに進捗している
 ②計画どおりに進捗していない
 B:事業内容について (i)計画どおりに進捗している
 (ii)計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況					3年度の取組内容	自己評価結果			
					30年度 (事業再評価時)	元年度	2年度	3年度				4年度	
H30 -13	土地区画整理事業 [都市整備局] 大阪都市計画事業三国 東地区土地区画整理事業	事業継続 (A)	建物移転や公共施設の整備について、他 地区の従前居住者用住宅の活用や移転用 地・公共施設用地の確保のため換地不交付 などの様々な事業促進を図る手法を活用 し、令和10年度での完了に向けて着実に事業を継続実施する。	計画 実績	事業費	全体	474	474	474	474	様々な事業促進を図る手法を活用し、移転用地・道路用地を確保するなど円滑に事業を推進した。	[自己評価結果] ②(イ) [理由] 権利者都合などによる移転計画の見直しを行い、執行計画を変更したため、事業費進捗率は計画未満となったが、この変更は今後予定している事業スケジュールに影響しないものである。	
累計	305	321	352			374	392						
進捗率	64%	68%	74%			79%	83%						
完了年度		R10	R10		R10	R10	R10						
事業費	全体	474	474		474	474							
	累計	305	321		346	360							
	進捗率	64%	68%		73%	76%							
完了年度		R10	R10		R10	R10							
H30 -14	住宅事業 [都市整備局] 市営住宅建替事業（大阪 市地区地域居住機能再生推進事業）	事業継続 (A)	「大阪市営住宅ストック総合活用計画」の事業進捗に遅延が出ないよう、今後も予算・国費の確保に努め、「地域居住機能再生推進事業」により計画的に建替事業を推進する。	計画 実績	事業費	全体	1,880	1,880	1,880	1,880	市営住宅ストック総合活用計画に基づき、市営住宅建替を計画的に実施した。	[自己評価結果] ①(イ) [理由]	
累計	341	690	869			1,075	1,276						
進捗率	18%	37%	46%			57%	68%						
完了年度		R7	R7		R7	R7	R7						
事業費	全体	1,880	1,880		1,880	1,880							
	累計	513	737		928	1,157							
	進捗率	27%	39%		49%	62%							
完了年度		R7	R7		R7	R7							
H30 -15	土地造成事業 [大阪港湾局] 第6貯木場土地造成事業	事業継続 (A)	早期の土地利用開始に向けて基盤整備を着実に進める。	計画 実績	事業費	全体	60	60	60	60	令和2年に続き道路工事を実施し、令和3年5月に工事が完了した。	[自己評価結果] ①(イ) [理由]	
累計	53	59	59			59	59						
進捗率	88%	98%	98%			98%	98%						
完了年度		R8	R8		R8	R8	R8						
事業費	全体	60	60		60	60							
	累計	53	57		59	59							
	進捗率	88%	95%		98%	98%							
完了年度		R8	R8		R8	R8							

事業再評価後の取組状況 - 平成30年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
 事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
 事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】
 A:事業費進捗率について ①計画どおりに進捗している
 ②計画どおりに進捗していない
 B:事業内容について (i)計画どおりに進捗している
 (ii)計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 〔事業所管局〕 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点															
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況						3年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由								
					30年度 (事業再評価時)	元年度	2年度	3年度	4年度										
H30 -16	街路事業 〔建設局〕 北野今市線整備事業			計画	事業費	全体	329	329	329	329	令和3年度は、道路設計及び道路整備を実施し事業進捗を図った。	〔自己評価結果〕 ②(ii) 〔理由〕 先行する埋設企業体による工事の遅れにより、計画どおりに進捗することができなかったが、令和3年度に遅れていた工事が完了し、同年に電線共同溝も完了したため令和4年度から入線支柱を行い、令和7年度完成に向けた車道整備を行っていく。 〔事業期間の変更をした理由〕 重点的に予算確保に取り組み、事業を実施したが、先行する埋設企業体による工事の遅れにより、完了年度を変更している。							
						累計	319	319	322	329									
						進捗率	97%	97%	98%	100%									
					完了年度	R3	R3	R3	R3										
				実績	事業費	全体	329	329	329	329									
						累計	319	319	319	320									
						進捗率	97%	97%	97%	97%									
					完了年度	R3	R3	R3	R7										
					H30 -17	街路事業 〔建設局〕 田辺出戸線（長吉出戸）整備事業			計画	事業費			全体	36	36	36	36	令和3年度は、用地取得に向け、用地交渉を行い、事業進捗を図った。	〔自己評価結果〕 ②(i) 〔理由〕 権利者との用地交渉に時間を要し、計画どおりの予算執行は行えなかったが、予算の範囲内で用地取得を行い、事業進捗を図っている。
													累計	35	36	36	36		
進捗率	97%	99%	100%	99%							99%								
完了年度	R2	R2	R2	R7						R7									
実績	事業費	全体	36	36					36	36									
		累計	35	35					35	35									
		進捗率	96%	96%					96%	96%									
	完了年度	R2	R2	R7					R7										
	H30 -18	街路事業 〔建設局〕 長吉線整備事業							計画	事業費	全体	34	34	34	34	令和3年度は、用地取得に向け、用地交渉を行い、事業進捗を図った。	〔自己評価結果〕 ②(i) 〔理由〕 権利者との用地交渉に時間を要し、計画どおりの予算執行は行えなかったが、予算の範囲内で用地取得を行い、事業進捗を図っている。		
											累計	33	34	34	34				
進捗率					97%	99%	100%	99%			99%								
完了年度					R2	R2	R2	R5		R5									
実績					事業費	全体	34	34	34	34									
						累計	33	33	33	33									
						進捗率	97%	97%	97%	97%									
					完了年度	R2	R2	R5	R5										
					H30 -19	街路事業 〔建設局〕 生野線整備事業			計画	事業費	全体	40	40	40	40			令和3年度は、用地取得に向け、用地交渉を行い、事業進捗を図った。	〔自己評価結果〕 ②(i) 〔理由〕 権利者との用地交渉に時間を要し、計画どおりに進捗することができていない。 〔事業期間の変更をした理由〕 権利者との用地交渉に時間を要しているが、引き続き用地交渉や調査を実施し、事業完了の見込める令和7年度まで期間を延伸している。
											累計	37	40	37	39				
進捗率	93%	100%	92%	97%							99%								
完了年度	R1	R1	R5	R5						R5									
実績	事業費	全体	40	40					40	40									
		累計	37	37					37	37									
		進捗率	92%	92%					92%	92%									
	完了年度	R1	R5	R5					R7										

事業再評価後の取組状況 - 平成30年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】
A:事業費進捗率について ①計画どおりに進捗している
②計画どおりに進捗していない
B:事業内容について (i)計画どおりに進捗している
(ii)計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況					3年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由			
				30年度 (事業再評価時)	元年度	2年度	3年度	4年度					
H30 -20 中之島歩行者専用道2 号線整備事業				計画	事業費	全体	23	23	23	23	令和3年度は、合わせて事業を実施する予定の中之島5丁目開発の事業化に向けて、本路線の整備に関する調整を進めた。	[自己評価結果] ①(i) [理由]	
						累計	22	22	22	22			23
						進捗率	96%	96%	96%	96%			100%
					完了年度		R4	R4	R4	R4			R4
					実績	事業費	全体	23	23	23			23
							累計	22	22	22			22
				進捗率			96%	96%	96%	96%			96%
				完了年度		R4	R4	R4	R4				
				H30 -21 住区基幹公園整備事業 [建設局] 中之島西公園整備事業				計画	事業費	全体			55
累計	53	53	54							55	55		
進捗率	96%	96%	98%							100%	100%		
完了年度		R4	R4						R4	R4	R4		
実績	事業費	全体	55						55	55	55		
		累計	53						53	53	53		
		進捗率	96%					96%	96%	96%			
完了年度		R4	R4					R4	R4				
H30 -22 街路事業 [建設局] 正連寺川歩行者専用道 整備事業								計画	事業費	全体	23	23	23
				累計	15	16	16			16	17		
				進捗率	66%	68%	69%			72%	72%		
				完了年度		R7	R7		R7	R7	R7		
				実績	事業費	全体	23		23	23	23		
						累計	15		15	16	16		
						進捗率	66%	67%	68%	69%			
				完了年度		R7	R7	R7	R7				
				H30 -23 公園整備事業 [建設局] 正連寺川公園整備事業				計画	事業費	全体	67	67	67
累計	32	34	36							38	38		
進捗率	48%	51%	54%							57%	57%		
完了年度		R7	R7						R7	R7	R7		
実績	事業費	全体	67						67	67	67		
		累計	25						26	27	28		
		進捗率	37%					39%	40%	41%			
完了年度		R7	R7					R7	R7				

事業再評価後の取組状況－令和元年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
 事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
 事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】
 A:事業費進捗率について ①計画どおりに進捗している
 ②計画どおりに進捗していない
 B:事業内容について (i)計画どおりに進捗している
 (ii)計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 〔事業所管局〕 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況						3年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由		
					元年度 (事業再評価時)	2年度	3年度	4年度	5年度				
R元 -01	街路事業 〔建設局〕 新庄長柄線（菅原）整備事業	事業継続 (B)	今後、当面は予算の範囲内で進捗をはかり、優先的に進める他の路線の収束に伴い予算が確保でき次第、本格的に残る用地取得と道路整備を進め、令和8年度での事業完了をめざす。	計画	事業費	全体	67	67	67	67	令和3年度は、用地取得に向けた、土地・建物調査を実施し事業進捗を図った。 [自己評価結果] ②(i) [理由] 権利者との用地交渉に時間を要し、計画どおりの予算執行は行えなかったが、予算の範囲内で用地取得に向けた調査を行い、着実に事業進捗を図っている。		
						累計	42	45	48	52		55	
						進捗率	63%	68%	71%	77%		82%	
					完了年度		R8	R8	R8	R8		R8	
				実績	事業費	全体	67	67	67				
						累計	42	43	43				
						進捗率	62%	64%	65%				
					完了年度		R8	R8	R8				
				R元 -02	街路事業 〔建設局〕 桜島東野田線（四貫島）整備事業	事業継続 (A)	現在、すべての用地取得が完了しており、今後、残る整備工事を着実に進める。また、令和元年度策定予定の無電柱化整備計画において、近年の地震等自然災害の被害を鑑み、早期に効果を発現する必要がある路線として位置付け、これまでの事業計画（令和7年度完了）を前倒し、令和5年度の事業完了をめざす。	計画	事業費	全体		41	41
累計	32	34	35							36	39		
進捗率	79%	83%	86%							90%	95%		
完了年度		R7	R7						R7	R7	R7		
実績	事業費	全体	41					41	41				
		累計	32					33	33				
		進捗率	80%					81%	81%				
	完了年度		R7					R7	R7				
R元 -03	街路事業 〔建設局〕 東野田河堀口線（上本町）整備事業	事業継続 (C)	限られた予算の範囲では本路線への重点的な予算配分は難しく、当面の間は、買収の要望に対応するなど限定的な事業実施となるが、今後、優先的に進める他の路線の収束に伴い、予算が確保でき次第、事業を実施し令和10年度での事業完了をめざす。					計画	事業費	全体	50	50	50
				累計	20	20	21			22	24		
				進捗率	40%	41%	42%			43%	48%		
				完了年度		R10	R10		R10	R10	R10		
				実績	事業費	全体	50	50	50				
						累計	20	20	20				
						進捗率	40%	40%	40%				
					完了年度		R10	R10	R10				
				R元 -04	土地造成事業 〔大阪港湾局〕 咲洲コスモスクエア地区ペDESTリアンデッキ整備事業	事業継続 (B)	ペDESTリアンデッキの整備については、歩行者の安全性及び利便性の観点から整備を進めるとともに、地域全体のコンセプトを踏まえつつ、より効果を高められるよう、民間事業者の整備するデッキと調整を行い、令和3年度での事業完了に向けて、着実に事業を実施する。	計画	事業費	全体	12	12	12
累計	3	3	10							12			
進捗率	22%	25%	83%							100%			
完了年度		R3	R3						R4	R4			
実績	事業費	全体	12					12	12				
		累計	3					3	4				
		進捗率	22%					25%	37%				
	完了年度		R3					R4	R5				

事業再評価後の取組状況 - 令和元年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
 事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
 事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】
 A:事業費進捗率について ①計画どおりに進捗している
 ②計画どおりに進捗していない
 B:事業内容について (i)計画どおりに進捗している
 (ii)計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況					3年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由			
					元年度 (事業再評価時)	2年度	3年度	4年度			5年度		
R元 -05	都市基幹公園等整備事業 [建設局] 毛馬桜之宮公園整備事業	事業継続 (C)	引き続き、早期の開設に向けて、用地取得と公園整備を実施する。	計画	事業費	全体	156	156	156	156	用地取得済の区域について整備工事を行った。	[自己評価結果] ①(i) [理由]	
						累計	147	147	148	152			
						進捗率	94%	94%	95%	98%			100%
					完了年度	R5	R5	R5	R5	R5			
				実績	事業費	全体	156	156	156				
						累計	147	147	148				
						進捗率	94%	94%	95%				
					完了年度	R5	R5	R5					
R元 -06	都市基幹公園等整備事業 [建設局] 難波宮跡公園整備事業	事業継続 (B)	引き続き、用地取得を実施し、民活の導入による公園整備を実施する。	計画	事業費	全体	15	15	15		北部ブロック整備に向けた事業者公募を開始した。	[自己評価結果] ②(ii) [理由] 文化庁の指導に基づき公園整備を行う際に必要となる整備基本計画の策定に遅れが生じたことから、計画期間内に公園整備を行うことができなかったため。 [事業期間を変更した理由] 文化庁の指導に基づき公園整備を行う際に必要となる整備基本計画の策定に遅れが生じたことから、公園整備に時間を要していたため、事業完了の見込める令和6年度まで期間を延伸している。	
						累計	10	11	13	15			
						進捗率	65%	74%	86%	100%			
					完了年度	R4	R4	R4	R4				
				実績	事業費	全体	15	15	15				
						累計	10	11	11				
						進捗率	65%	74%	74%				
					完了年度	R4	R4	R6					
R元 -07	住宅市街地総合整備・住宅地区改良事業 [都市整備局] 生野区南部地区整備事業	事業継続 (A)	これまで、3つの事業手法により整備を進め、道路整備や、改良住宅の建設、まちかど広場の整備、民間老朽住宅の建替え支援など、一定の事業進捗の成果を上げてきたところであるが、生野区役所と一体となり、まちづくり協議会と連携・協働して、大地主の反対により難航している箇所の用地買収を集中的に実施し、あわせて、区画整理等の手法の活用も視野に入れ、用地取得を進めることで、道路・公園や受け皿住宅の整備を計画的に進め、より一層の事業展開を行い令和6年度事業完了を目指して着実に実施していくものである。	計画	事業費	全体	563	563	563	563	地区内の道路整備等を進めるために、府営南生野住宅の解体工事を実施し完了した。 用地取得を行い、事業進捗を図った。さらに次年度以降も用地買収を進めるため、引き続き大地主などに事業説明を実施した。	[自己評価結果] ②(i) [理由] 令和2年度から引き続き大地主などへの用地買収に向けた調整及び交渉を進めており、令和4年度以降は事業が大きく進捗する見込みである。 更に、用地買収が難航している物件については、区画整理手法の活用等も視野に入れながら調整及び交渉を進めて行く予定である。	
						累計	324	404	444	484			
						進捗率	58%	72%	79%	86%			93%
					完了年度	R6	R6	R6	R6	R6			
				実績	事業費	全体	563	563	563				
						累計	334	336	341				
						進捗率	59%	60%	61%				
					完了年度	R6	R6	R6					
R元 -08	住宅地区改良事業 [都市整備局] 旭住宅地区改良事業	事業継続 (B)	令和6年度の事業収束をめざして、引き続き権利者に対し粘り強く交渉を行うとともに、あらたに区画整理等の手法の活用も視野に入れながら用地取得を進め、計画的な改良住宅の建設・施設整備を行っていく。	計画	事業費	全体	54	54	54	54	長期間、連絡の取れなかった遠隔地に居住する権利者の所在を調査し、建物調査にかかる調整を行い、建物調査を実施した。	[自己評価結果] ②(ii) [理由] コロナ禍による移動自粛や行動制限もあり、用地買収等にかかる権利者との調整及び交渉に想定以上の時間を要しているため。 [今後の見通し] 権利者に対し粘り強い交渉を行いながら、用地取得を進め、計画的に必要な施設整備を行うなど、事業計画どおりの事業完了に向けて事業を実施する。	
						累計	27	32	35	43			
						進捗率	50%	59%	65%	80%			98%
					完了年度	R6	R6	R6	R6	R6			
				実績	事業費	全体	54	54	54				
						累計	27	27	27				
						進捗率	50%	50%	50%				
					完了年度	R6	R6	R6					

事業再評価後の取組状況 - 令和元年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
 事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
 事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】
 A:事業費進捗率について ①計画どおりに進捗している
 ②計画どおりに進捗していない
 B:事業内容について (i)計画どおりに進捗している
 (ii)計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況						3年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由		
					元年度 (事業再評価時)	2年度	3年度	4年度	5年度				
R元 -09	土地区画整理事業 [都市整備局] 大阪都市計画事業淡路 駅周辺地区土地区画整理事業	事業継続 (A)	高架切替後に新鉄道敷西エリアの整備を行い、令和9年度の換地処分をめざす。	計画	事業費	全体	368	368	368	368	建物移転及び埋設管等移設工事を計画的に実施した。	[自己評価結果] ②(ⅰ) [理由] 移転及び工事スケジュールの見直しを行い、執行計画を変更したため、実績事業費累計は計画事業費累計より微減したが、この変更は今後予定している事業スケジュールに影響しないものである。	
						累計	347	353	355	355			
						進捗率	94%	96%	96%	96%			96%
				完了年度		R9	R9	R9	R9	R9			
				実績	事業費	全体	368	368	368				
						累計	347	352	353				
						進捗率	94%	96%	96%				
						完了年度		R9	R9	R9			
				R元 -10	土地造成事業 [大阪港湾局] 夢洲土地造成事業	事業継続 (A)	2025年日本国際博覧会の開催とIR開業をめざし、土地造成・インフラ整備に取り組む。	計画	事業費	全体			1,390
累計	604	766	873							936	1,030		
進捗率	43%	55%	63%							67%	74%		
完了年度		R28	R28					R28	R28	R28			
実績	事業費	全体	1,390					1,390	1,390				
		累計	624					688	811				
		進捗率	45%					49%	58%				
		完了年度						R28	R28	R28			
R元 -11	街路事業 [建設局] 大和川北岸線（公園南矢田）整備事業							計画	事業費	全体	28	28	28
				累計	28	28	28			28	28		
				進捗率	99%	100%	99%			99%	100%		
				完了年度		R2	R2	R5	R5	R5			
				実績	事業費	全体	28	28	28				
						累計	27	27	26				
						進捗率	99%	99%	95%				
						完了年度		R2	R5	R5			
				R元 -12	都市公園整備事業 [建設局] 鶴見緑地事業			計画	事業費	全体	1,272	1,272	1,272
累計	1,272	1,272	1,272							1,272	1,272		
進捗率	99%	99%	99%							99%	99%		
完了年度		R5	R5					R5	R5	R5			
実績	事業費	全体	1,272					1,272	1,272				
		累計	1,272					1,272	1,272				
		進捗率	99%					99%	99%				
		完了年度						R5	R5	R5			

事業再評価後の取組状況 - 令和2年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの
 事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの
 事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】
 A:事業費進捗率について ①計画どおりに進捗している
 ②計画どおりに進捗していない
 B:事業内容について (i)計画どおりに進捗している
 (ii)計画どおりに進捗していない

(単位:億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点															
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況						3年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由								
					2年度 (事業再評価時)	3年度	4年度	5年度	6年度										
R2 -01	街路事業 [建設局] 津守阿倍野線整備事業	事業継続 (A)	防災機能の向上や道路ネットワークの形成のためにも整備が必要な路線として、重点的に予算を確保し、用地交渉が難航している物件については収用手続きへの移行も視野に入れながら、用地取得を進め、用地取得が終われば、速やかに工事を実施し、令和5年度の事業完了をめざす。	計画	事業費	全体	67	67	67	67	令和3年度は、用地取得及び道路工事等を実施し事業進捗を図った。	[自己評価結果] ②(ii) [理由] 権利者との用地交渉に時間を要し、計画どおりに進捗することができていない。 [事業期間の変更をした理由] 権利者との用地交渉に時間を要しているが、引き続き用地交渉を進め、事業完了の見込める令和7年度まで期間を延伸している。							
						累計	58	62	65	67									
						進捗率	87%	93%	98%	100%									
					完了年度		R5	R5	R5	R5									
					実績	事業費	全体	67	67										
							累計	55	56										
				進捗率			82%	84%											
				完了年度		R5	R7												
				R2 -02	淀川北岸線（菅原）整備事業	事業継続 (A)	予算の範囲内で着実に、残る用地取得と道路整備を進め、令和12年度での事業完了をめざす。	計画	事業費	全体			147	147	147	147	147	令和3年度は、用地取得に向けた、土地調査道路設計及び道路整備を実施し事業進捗を図った。	[自己評価結果] ①(i) [理由]
										累計			43	45	48	51	65		
										進捗率			29%	31%	33%	35%	44%		
									完了年度				R12	R12	R12	R12	R12		
実績	事業費	全体	147						147										
		累計	45						45										
		進捗率	31%					31%											
	完了年度		R12					R12											